

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2023年7月14日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）
【会社名】	株式会社クラウディアホールディングス
【英訳名】	KURAUDIA HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 倉 正治
【本店の所在の場所】	京都市右京区西院高田町34番地
【電話番号】	075(315)2345
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 若林 雄次
【最寄りの連絡場所】	京都市右京区西院高田町34番地
【電話番号】	075(315)2345
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 若林 雄次
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第47期 第3四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自2021年9月1日 至2022年5月31日	自2022年9月1日 至2023年5月31日	自2021年9月1日 至2022年8月31日
売上高 (千円)	7,112,023	8,891,694	9,507,932
経常利益 (千円)	733,463	839,186	686,475
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	777,347	723,914	824,382
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	786,820	707,856	823,825
純資産額 (千円)	3,099,866	3,815,187	3,136,871
総資産額 (千円)	13,842,111	13,932,403	13,577,541
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	87.94	81.42	93.21
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	22.39	27.38	23.10

回次	第46期 第3四半期連結 会計期間	第47期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2022年3月1日 至2022年5月31日	自2023年3月1日 至2023年5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	79.73	21.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における当企業グループを取り巻く環境は、世界的なエネルギー価格、原材料価格等の上昇や円安の進行など、いまだ不透明な状況が続くものの、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に薄れ、行動制限の緩和や新しい生活様式の定着が進むとともに、ブライダル市場にも緩やかな回復傾向が見られました。このような環境のもと、当企業グループは婚礼衣装メーカーとして“ものづくり”をコアとし、より最終消費者に近く、より大きなマーケットである挙式関連サービス事業領域(B to C)の開拓を推進し、当企業グループの市場拡大に向け注力しております。

当第3四半期連結累計期間に行った主な事業展開としましては、衣裳事業において、2023年3月にリーガロイヤルホテル大阪(大阪市北区)内の衣裳室「銀座クチュールナオコ リーガロイヤル大阪店」を、写真・映像事業において、同年4月に「浦安ブライトンホテル東京ベイ 写真室」(千葉県浦安市)、「琵琶湖ホテル 写真室」(滋賀県大津市)を新規オープンいたしました。また、株式会社クラウドディアが展開するブランドドレスの世界観を再現したコンセプトフォトスタジオ「リトル・マーサ 横浜店」(横浜市中区)の2023年6月の開業に先立ち予約を開始いたしました。美容事業においては2023年4月に有限会社花嫁の千登勢から事業の承継を行い、仙台市内に5店舗を展開し、婚礼美容・着付けや成人式衣裳のレンタルなどの施行を運営しております。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業部門 売上高	1,423	1,788	364	25.6
製・商品売上高	638	860	222	34.8
レンタル収入等	785	927	142	18.1
コンシューマー事業部門 売上高	5,688	7,103	1,414	24.9
衣裳取扱収入	1,812	2,190	377	20.9
リゾート挙式売上高	589	1,055	465	79.0
式場運営収入	2,084	2,270	185	8.9
写真・映像・美容等売上高	1,201	1,586	385	32.1
連結売上高	7,112	8,891	1,779	25.0

上記の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、最終消費者の挙式意欲の回復を反映し、8,891百万円(前年同期比25.0%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の回復により、営業利益は805百万円(前年同期比215.8%増)と大幅に改善いたしました。一方で助成金収入等の減少により、経常利益は839百万円(前年同期比14.4%増)となりました。また、税金費用等が増加したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は723百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、5,943百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金201百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し、7,988百万円となりました。これは主に、建設仮勘定145百万円、レンタル衣裳46百万円及び保険積立金25百万円の増加、建物及び構築物68百万円の減少によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ354百万円増加し、13,932百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ359百万円増加し、6,103百万円となりました。これは主に、賞与引当金168百万円、買掛金132百万円及び未払法人税等111百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金136百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、4,013百万円となりました。これは主に、長期借入金707百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ323百万円減少し、10,117百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、3,815百万円となりました。これは主に、利益剰余金679百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は27.4%となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当企業グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当企業グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2023年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2023年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,689,200	9,689,200	東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数 100株
計	9,689,200	9,689,200	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2023年3月1日～ 2023年5月31日	-	9,689	-	50,000	-	50,000

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2023年5月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 777,600	-	単元株式数100株
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,903,300	89,033	同上
単元未満株式	普通株式 8,300	-	-
発行済株式総数	9,689,200	-	-
総株主の議決権	-	89,033	-

## 【自己株式等】

2023年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社クラウドディアホールディングス	京都市右京区西院高田町34番地	777,600	-	777,600	8.03
計	-	777,600	-	777,600	8.03

（注）当第3四半期会計期間末日現在の自己名義株式数は777,543株で、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は8.02%であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2022年9月1日から2023年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwC京都監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,503,139	4,326,288
受取手形及び売掛金	621,359	822,475
商品及び製品	99,028	110,920
仕掛品	54,517	66,318
原材料	188,504	225,900
貯蔵品	85,457	83,567
その他	238,602	313,864
貸倒引当金	4,318	5,454
<b>流動資産合計</b>	<b>5,786,291</b>	<b>5,943,882</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,415,142	6,464,722
減価償却累計額	4,265,020	4,383,056
建物及び構築物(純額)	2,150,122	2,081,665
機械装置及び運搬具	480,117	475,500
減価償却累計額	453,226	445,307
機械装置及び運搬具(純額)	26,891	30,193
工具、器具及び備品	978,184	1,037,795
減価償却累計額	850,130	893,631
工具、器具及び備品(純額)	128,053	144,164
レンタル衣裳	236,619	328,856
減価償却累計額	111,555	157,561
レンタル衣裳(純額)	125,063	171,294
土地	2,105,287	2,105,287
建設仮勘定	-	145,512
<b>有形固定資産合計</b>	<b>4,535,419</b>	<b>4,678,119</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	45,308	42,405
借地権	14,144	13,272
のれん	15,546	10,536
その他	9,954	45,446
<b>無形固定資産合計</b>	<b>84,954</b>	<b>111,661</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,704	22,612
保険積立金	368,254	394,076
差入保証金	2,431,692	2,426,854
繰延税金資産	215,098	229,370
その他	243,224	217,294
貸倒引当金	107,096	91,466
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,170,877</b>	<b>3,198,740</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,791,250</b>	<b>7,988,521</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,577,541</b>	<b>13,932,403</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	180,713	313,684
短期借入金	3,150,000	3,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2 1,106,654	2 969,974
未払法人税等	12,532	124,357
契約負債	360,139	401,617
賞与引当金	194,326	362,963
役員賞与引当金	-	9,135
その他	739,242	771,834
流動負債合計	5,743,608	6,103,565
固定負債		
長期借入金	2 3,900,128	2 3,193,108
長期未払金	407,724	407,611
繰延税金負債	25,411	24,687
資産除去債務	333,138	357,582
その他	30,660	30,660
固定負債合計	4,697,062	4,013,649
負債合計	10,440,670	10,117,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	2,207,981	2,191,427
利益剰余金	1,153,251	1,832,762
自己株式	505,210	473,792
株主資本合計	2,906,021	3,600,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	698	1,882
為替換算調整勘定	230,151	212,909
その他の包括利益累計額合計	230,849	214,791
純資産合計	3,136,871	3,815,187
負債純資産合計	13,577,541	13,932,403

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	7,112,023	8,891,694
売上原価	1,328,587	1,702,038
売上総利益	5,783,436	7,189,655
販売費及び一般管理費	5,528,297	6,383,876
営業利益	255,139	805,778
営業外収益		
受取利息	7,111	7,976
受取配当金	37	294
為替差益	98,257	2,244
受取手数料	447	509
受取賃貸料	4,931	4,101
受取保険金	-	1,676
助成金収入	387,506	18,731
貸倒引当金戻入額	14,229	13,405
その他	12,332	24,516
営業外収益合計	524,855	73,456
営業外費用		
支払利息	39,783	36,925
支払手数料	1,036	1,018
その他	5,711	2,105
営業外費用合計	46,531	40,049
経常利益	733,463	839,186
特別利益		
固定資産売却益	473	336
保険解約返戻金	-	20,984
特別利益合計	473	21,320
特別損失		
減損損失	-	26,562
固定資産除却損	1,244	29
特別損失合計	1,244	26,592
税金等調整前四半期純利益	732,692	833,914
法人税、住民税及び事業税	22,170	125,620
法人税等調整額	66,825	15,619
法人税等合計	44,655	110,000
四半期純利益	777,347	723,914
親会社株主に帰属する四半期純利益	777,347	723,914

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	777,347	723,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,357	1,184
為替換算調整勘定	10,830	17,241
その他の包括利益合計	9,472	16,057
四半期包括利益	786,820	707,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786,820	707,856
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
有限会社貸衣裳東陣	1,060千円	106千円

2. 財務制限条項

長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)について財務制限条項が付されているものがあり、これに抵触した場合に借入先の要求に基づき、借入金を一括返済する可能性があります。

当該財務制限条項の付された長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
財務制限条項の付された長期借入金残高	2,625,000千円	2,400,000千円

なお、当該条項は以下のとおりであります。

- (1) 2023年8月期末及びそれ以降の連結会計年度の末日における連結純資産の金額を2022年8月期末の連結純資産の金額の75%以上に維持すること。
- (2) 2023年8月期末及びそれ以降の各連結会計年度の末日における連結損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
減価償却費	221,427千円	240,928千円
のれんの償却額	2,783	5,010

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2022年5月31日)

## 1. 配当に関する事項

## 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は、2021年11月25日開催の第45回定時株主総会の決議により、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、2021年12月22日を効力発生日として、資本金1,021,590千円及び資本準備金1,052,138千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。この結果、資本金は50,000千円、資本準備金は50,000千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日 至2023年5月31日)

## 1. 配当に関する事項

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月29日 定時株主総会	普通株式	26,580	3	2022年8月31日	2022年11月30日	利益剰余金
2023年3月31日 取締役会	普通株式	17,823	2	2023年2月28日	2023年5月9日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(収益認識関係)

当企業グループは、「プライダル事業」の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

(単位:千円)

事業部門	一時点で移転される財又はサービス	一定の期間にわたり移転される財又はサービス	顧客との契約から生じる収益	その他の収益	外部顧客への売上高
ホールセール事業部門 売上高	1,268,516	155,217	1,423,734	-	1,423,734
製・商品売上高	638,440	-	638,440	-	638,440
レンタル収入等	630,076	155,217	785,294	-	785,294
コンシューマー事業部門 売上高	5,688,289	-	5,688,289	-	5,688,289
衣裳取扱収入	1,812,460	-	1,812,460	-	1,812,460
リゾート拳式売上高	589,919	-	589,919	-	589,919
式場運営収入	2,084,721	-	2,084,721	-	2,084,721
写真・映像・美容等 売上高	1,201,187	-	1,201,187	-	1,201,187
合計	6,956,806	155,217	7,112,023	-	7,112,023

当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

事業部門	一時点で移転される財又はサービス	一定の期間にわたり移転される財又はサービス	顧客との契約から生じる収益	その他の収益	外部顧客への売上高
ホールセール事業部門 売上高	1,661,399	127,027	1,788,427	-	1,788,427
製・商品売上高	860,877	-	860,877	-	860,877
レンタル収入等	800,522	127,027	927,550	-	927,550
コンシューマー事業部門 売上高	7,103,266	-	7,103,266	-	7,103,266
衣裳取扱収入	2,190,401	-	2,190,401	-	2,190,401
リゾート拳式売上高	1,055,752	-	1,055,752	-	1,055,752
式場運営収入	2,270,435	-	2,270,435	-	2,270,435
写真・映像・美容等 売上高	1,586,677	-	1,586,677	-	1,586,677
合計	8,764,666	127,027	8,891,694	-	8,891,694

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり四半期純利益	87円94銭	81円42銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	777,347	723,914
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	777,347	723,914
普通株式の期中平均株式数(株)	8,839,509	8,891,003

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。



## 2【その他】

### 中間配当について

2023年3月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....17,823千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2023年5月9日

(注) 2023年2月28日現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年7月13日

株式会社クラウドディアホールディングス

取締役会 御中

P w C 京都監査法人  
京都事務所

指定社員 公認会計士 矢野 博之  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 橋本 民子  
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クラウドディアホールディングスの2022年9月1日から2023年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2022年9月1日から2023年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クラウドディアホールディングス及び連結子会社の2023年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。